

弘前学院大学社会福祉学部専任教員 2006 年度の研究業績*

*：以下においては、2007年度現在の本学部専任教員が2006年度（2006年4月～2007年3月）に発刊・発表した研究業績（但し、編著書、学術論文、口頭発表のみ）を掲載する。掲載内容は各自の自己申告に基づく。また、掲載の順は五十音順である。

小川幸裕（講師：2007年4月に着任）

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】 1. 「独立型社会福祉士」の動向に関する一考察	単著	2007年3月	『帯広大谷短期大学紀要』第44号 33～42頁

西東克介（准教授）

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【口頭発表】 1. アメリカ教育長のアドミニストレーション能力	単独	2006年10月	青森法学会
2. 「津軽」および日本社会の指向・行動パターンと教育基本法の個人尊重	単独	2006年12月	弘前学院大学地域総合文化研究所

齋藤 繁（教授）

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】 1. 発達障害児のための非音声言語的意思伝達方法について	単著	2007年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第7号 1～10頁
2. 福祉考現学序説	単著	2007年3月	『弘前学院大学大学院社会福祉学研究科社会福祉研究』第2号 47～57頁

笹森建英（教授）

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【編書】 1. 『地域学』第4巻		2006年6月	弘前学院大学地域総合文化研究所
【学術論文】 1. 津軽における平家琵琶	単著	2006年7月	『平曲を楽しむ会』（弘前学院大学） 2～6頁

野口伐名(教授)

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】 1. 陸羯南(二) —その思想的親近性「愛国心」をめぐって—	単著	2006年6月	『地域学』第4巻(弘前学院大学地域文化総合研究所) 27～55頁
2. 神の愛による青森県初めての幼稚園(四) —明治三十八年の私立弘前幼稚園の保育—	単著	2006年6月	『地域学』第4巻(弘前学院大学地域文化総合研究所) 155～179頁
3. 保育園における乳幼児の「感謝の心」を育む保育の創造	単著	2007年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第7号 8～29頁
4. 地域における主任児童委員の活動 —子育て支援を中心に—	単著	2007年3月	『社会福祉学研究』第2号(弘前学院大学大学院社会福祉学研究科) 1～30頁

藤岡真之(助教)

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】 1. 健康情報に関するメディア利用と健康意識、健康行動	単著	2007年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第7号 30～41頁

本郷 亮(講師)

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【著書】 1. 福祉国家の経済思想—自由と統制の統合—	共著	2006年10月	ナカニシヤ出版 編集：小峯敦 執筆箇所：「ピグーの福祉社会論：市民的能動性と優生思想」(52～64頁、山崎聡と共著)
【学術論文】 1. ピグーの「失業の理論」—20年代不況の理論表現として—	単著	2006年6月	『経済学史研究』第48巻1号(経済学史学会) 63～77頁
2. ピグーの政治論	単著	2007年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第7号 42～50頁

松本郁代(准教授)

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【著書】 1. 日本社会福祉史—明治期から昭和戦前期までの分野別形成史	共著	2007年2月	勁草書房 編集：井村圭壯・藤原正範 執筆箇所：105～111頁、123～129頁
【学術論文】 1. 1930年代の岩手県における社会事業の一断面	単著	2006年6月	『地域学』第4巻(弘前学院大学地域文化総合研究所) 141～153頁

吉岡利忠（教授）

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】			
1. Air circulation confinement experiments in the CEEF-Changes in physical Conditions and health managements of Eco-nauts-	共著	2006年 7 月	Abstract of the 36 th International Conference on Environmental Systems
2. Air circulation confinement experiments in the CEEF-Workload and energy expenditures of Eco-nauts in closed habitation experiments-	共著	2006年 7 月	Abstract of the 36 th International Conference on Environmental Systems
3. Estrogen administration attenuates immobilization-induced akelesal muscle atrophy in male rats	共著	2006年10月	J. Physiol. Sci. 第56巻(6)
4. 柳田邦男氏の「心のケア」についての総括	単著	2006年11月	日本リハビリレーション病院施設協会誌103号
5. 東京水天宮助産師養成支援制度	単著	2007年 1 月	助産雑誌 第61号(1)
6. 生理的刺激を利用した骨格筋再生メカニズムの追求および処方策の検討	共著	2007年 3 月	平成16年度～18年度 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 総括 研究報告書
【学会発表】			
1. 血管平滑筋の選択的な興奮寒冷刺激とその観察法	共同	2006年 7 月	第14回日本運動生理学会大会
2. 発育期におけるラット骨格筋肥大に関するシグナル伝達系の変化	共同	2006年 7 月	第14回日本運動生理学会大会
3. Air circulation confinement experiments in the CEEF-Changes in physical conditions and health managements of Eco-naut-	共同	2006年 7 月	36 th International Conference on Environmental Systems
4. Air circulation confinement experiments in the CEEF-Workloads and energy expenditures of Eco-nauts in closed habitation experiments-	共同	2006年 7 月	36 th International Conference on Environmental Systems
5. 冬期間における身体活動量の検討-歩数から見た積雪期と非積雪期の比較-	共同	2006年 9 月	第61回日本体力医学会大会
6. 過負荷ストレスによる骨格筋再生過程の変化	共同	2006年 9 月	第61回日本体力医学会大会
7. 骨格筋損傷モデルマウスにおける筋再生過程に及ぼすG-CSFの影響	共同	2006年 9 月	第61回日本体力医学会大会
8. 循環系の諸臓器は自律神経活動の同じ累張効果を呈しているのだろうか？	共同	2006年 9 月	第61回日本体力医学会大会

著書、学術論文等の名称	単著、共著等の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
9. 加齢による萎縮筋の回復過程における細胞内シグナル伝達系の差異	共同	2006年9月	第61回日本体力医学会大会
10. Muscle hypertrophy induced by heat-stress with low-intensity exercise in healthy man	共同	2006年10月	The 57 th International Astronautical Congress
11. 「日本体力医学会の立場から」生活習慣病対策-医学・体力医学・栄養学・薬学・厚生行政からのアプローチ-	単独	2006年12月	第138回日本体力医学会関東地方会
12. 水温8℃浸水時間2分が寒冷昇圧機序を反映する至適刺激	共同	2007年3月	第84回日本生理学会大会